

音楽Ⅰ		芸術	普通科目	選択必修修	通年	2単位
履修上の注意	「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「工芸Ⅰ」「書道Ⅰ」のうち、1科目以上を必ず履修すること。					
授業の目標・内容	<p>音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばします。学習する内容はつぎのとおりです。</p> <p>【表現活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・斉唱、重唱を中心に、視唱力を伸ばすとともに曲の雰囲気合った表現を工夫します。 ・簡単な弦・打・鍵盤楽器を体験し、奏法を工夫するとともに視奏力を伸ばします。 ・いろいろな音階やリズムを用いて、短い旋律やリズムを創作し、それらを演奏することによって、表現を工夫します。 <p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国および世界のさまざまな地域の音楽 					
使用教材(費用)	教科書・副教材・任意の楽譜代など(計1000円程度) アルトリコーダーを持っていない人は用意すること。					
評価規準・方法など	実技テスト・発表・小テスト・提出物・課題へのとり組み・授業への参加状況などにより、総合的に評価します。					
備考	「いろいろな楽器が演奏できたらいいな!」「楽譜が読めたらいいな!」など思ったことはありませんか。音楽Ⅰでは、音楽の3要素であるリズム・メロディ・ハーモニーを、いろいろな楽器で体験することによって、音楽の基礎を学習していきます。演奏に積極的に参加することで、楽譜を読む力や歌ったり演奏する力を伸ばします。授業では、クラス全体、またはグループで、あるいは個人でというふうにも、曲種や学習内容に応じて、さまざまな学習形態をとりまします。ときには学習の成果を発表したり、お互いの演奏を聴きあったりしながら、感性を磨いて					
音楽Ⅱ		芸術	普通科目	自由選択	通年	2単位
履修上の注意	「音楽Ⅰ」を、履修済であること。					
授業の目標・内容	<p>「音楽Ⅰ」の学習をふまえ、さらに音楽文化についての理解を深め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばします。学習する内容はつぎのとおりです。</p> <p>【表現活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・斉唱、重唱を中心に、曲種に応じた発声や豊かな表現を工夫します。 ・さまざまな楽器の奏法を工夫するとともに視奏力の充実を図ります。 ・楽器の特性を活かした器楽曲を創作し、編曲の基礎的知識を学ぶとともに自ら演奏します。 <p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽曲の構造や音楽の歴史的背景について理解します。 ・日本の伝統音楽を鑑賞し、 					
使用教材(費用)	教科書・副教材・任意の楽譜代など(計1000円程度)					
評価規準・方法など	実技テスト・発表・小テスト・提出物・課題へのとり組み・授業への参加状況などにより、総合的に評価します。					
備考	音楽Ⅱでは、音楽Ⅰで学習した基礎的な内容を更に深めていくことを目的とします。さまざまな楽器を用いて、少人数のアンサンブルにとり組み、個性豊かな表現を工夫します。また鑑賞では、曲の構造や音楽の歴史的背景、日本の伝統音楽の特徴などを理解し、興味をもったことについて調査・研究をおこない、発表していきます。鑑賞の場面で学んだ曲の構造が、創作や表現の場面で生かされるかも知れません。自ら演奏するという動的な活動と鑑賞するという静的な活動は、互いに関連性をもちつつ、みなさんの感性をさらに高めます。					
音楽Ⅲ		芸術	普通科目	自由選択	通年	2単位
履修上の注意	「音楽Ⅰ」および「音楽Ⅱ」を、履修済であること。					
授業の目標・内容	<p>「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」での学習をふまえ、さらに生涯にわたり、音楽を愛好する心情と、音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高めます。学習する内容はつぎのとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇独唱や独奏を中心に、個性豊かな表現をめざし、奏法等を工夫します。 ◇音楽と他の芸術との結びつきをもつ例を考え、総合芸術といわれるオペラ・ミュージカル・映画などをとりあげて鑑賞します。 ◇上記の鑑賞から学んだ表現等を各自の演奏に生かして、表現の工夫をします。 ◇音楽と社会、音楽と文化との関わり、現 					
使用教材(費用)	教科書・副教材・任意の楽譜代など(計1000円程度)					
評価規準・方法など	実技テスト・発表・小テスト・提出物・課題へのとり組み・授業への参加状況などにより、総合的に評価します。					
備考	音楽Ⅲでは、総まとめとして、皆さんの個性を活かした豊かな表現について学習していきます。表現の分野では、独唱や独奏を中心に演奏の力を高めしていきます。また、鑑賞の分野では、音楽と他の芸術の関連や、音楽と社会、音楽と文化とのかわり、現代の音楽についても深く探っていきます。例えば、映画・ミュージカル・オペラといったものが一例として挙げられますが、これらの中から自分のテーマを選び、レポートを作成します。これら2つの分野の内容は、決して別のものでなく、互いに関連性を持って、一人ひとりの豊かな個人的表現に活かされ					

美術Ⅰ		芸術	普通科目	選択必修	通年	2単位
履修上の注意	「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「工芸Ⅰ」「書道Ⅰ」のうち、1科目以上を必ず履修すること。					
授業の目標・内容	<p>美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばします。つぎの事項について学びます。</p> <p>【A 表現】 1. 絵画・彫刻 2. デザイン 3. 映像メディア表現</p> <p>【B 鑑賞】 1. 美術作品のよさや美しさ 2. 作者の心情や意図と表現の工夫 3. 生活や自然と美</p>					
使用教材(費用)	教科書・教材費(計3500円程度)					
評価規準・方法など	授業への参加状況、提出物等により、総合的に評価します。					
備考	描くこと、つくることを中心に、自分の考えや感じ取ったことなどを、さまざまな表現形式を工夫し、表現の楽しさや完成の喜びを味わいます。深い観察や美しいものへの感動の中から、自己の考え、想像等を基にして自己の表現したい世界をさがしていきます。					
美術Ⅱ		芸術	普通科目	自由選択	通年	2単位
履修上の注意	「美術Ⅰ」を、履修済であること。					
授業の目標・内容	<p>「美術Ⅰ」での学習をふまえ、さらに美術の創造的な活動を通して、美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、美術文化についての理解を深め、個性豊かな美術の能力を高めます。つぎの事項を学習します。</p> <p>【A 表現】 1. 絵画・彫刻 2. デザイン 3. 映像メディア表現</p> <p>【B 鑑賞】 1. 作品や作者の個性などについての多様な見方 2. 心豊かな生き方の想像に関わる美術の働き 3. 時</p>					
使用教材(費用)	教科書・教材費(計3500円程度)					
評価規準・方法など	授業への参加状況、提出物等により、総合的に評価します。					
備考	自然、自己、社会などを深く見つめ、創造的で心豊かな表現をめざします。一人ひとりが表現形式を探り、材料用具の活用を通して、自己の表現世界を深めます。					
美術Ⅲ		芸術	普通科目	自由選択	通年	2単位
履修上の注意	「美術Ⅰ」および「美術Ⅱ」を、履修済であること。					
授業の目標・内容	<p>「美術Ⅰ」「美術Ⅱ」での学習をふまえ、さらに生涯にわたって美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高めます。また、自己表現活動としての美術における自らの課題を発見したり、適切に解決できる能力や知識を育みます。つぎの事項を学習します。</p> <p>【A 表現】 1. 絵画・彫刻 2. デザイン 3. 映像メディア表現</p> <p>【B 鑑賞】 1. 作者の生き方や主張と作品</p>					
使用教材(費用)	教科書・教材費(計3500円程度)					
評価規準・方法など	授業への参加状況、提出物等により、総合的に評価します。					
備考	将来、美術系の進路(大学・専門学校等)を考えている人、美術をこよなく愛好する人が対象です。デザインや基礎造形、色彩構成などの能力を伸ばし、それらを発展させ、独創的・創造的な表現を追求します。					

	工芸Ⅰ	芸術	普通科目	選択必修	通年	2単位
履修上の注意	「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「工芸Ⅰ」「書道Ⅰ」のうち、1科目以上を必ず履修すること。					
授業の目標・内容	<p>工芸の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、工芸を愛好する心情と生活を心豊かにするために工夫する態度を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばします。 学習する内容はつぎのとおりです。</p> <p>【A 表現】 1. 工芸制作 2. プロダクト制作 ※1. または2. のうちいずれかを選択してあつたうことがあります。</p> <p>【B 鑑賞】 1. 工芸作品のよさや美しさ 2. 作者の心情や意図と表現の工夫</p>					
使用教材(費用)	教科書・教材費(計3000円程度)					
評価規準・方法など	授業への参加状況、課題へのとり組み、提出物などにより、総合的に評価します。					
備考	<p>工芸Ⅰでは、木や革、ガラス、土などの素材を使って、日常に彩りを与え生活に役立つ作品の制作をおこないます。 また工芸作品を鑑賞し、工芸の歴史や表現の工夫等について理解を深めていきます。週1時間で制作するため、毎時間をたいせつに制作に励むことのできる人におすすめします(陶芸は毎時間出席しないと制作物ができません)。 危険な工具や刃物類を使用することがありますので、充分注意してとりこんでください。</p>					
	工芸Ⅱ	芸術	普通科目	自由選択	通年	2単位
履修上の注意	「工芸Ⅰ」を、履修済であること。					
授業の目標・内容	<p>「工芸Ⅰ」での学習をふまえ、工芸の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、工芸を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、美術文化についての理解を深め、個性豊かな工芸の能力を高めます。 つぎの事項を学習します。</p> <p>【A 表現】 1. 工芸制作 2. プロダクト制作</p> <p>【B 鑑賞】 1. 作品や作者の個性などについての多様な見方 2. 工芸と自然及び生活環境の構成とのかわり 3. 心豊かな生き方の創造にかかわる工芸の働き</p>					
使用教材(費用)	教科書・教材費(計4000円程度)					
評価規準・方法など	授業への参加状況、課題へのとり組み、提出物などにより、総合的に評価します。					
備考	<p>「工芸Ⅰ」で学んだ基礎を基に、有用性と美しさを追求した作品の制作にとりこんでいきます。週1時間で制作をするため、毎時間をたいせつに制作に励むことのできる人におすすめします。 危険な工具や刃物類を使用することがありますので、充分注意してとりこんでください。</p>					
	工芸Ⅲ	芸術	普通科目	自由選択	通年	2単位
履修上の注意	「工芸Ⅰ」および「工芸Ⅱ」を、履修済であること。					
授業の目標・内容	<p>「工芸Ⅰ」「工芸Ⅱ」での学習をふまえ、さらに生涯にわたって工芸を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな工芸の能力を高めます。 つぎの事項を学習します。</p> <p>【A 表現】 1. 工芸制作 2. プロダクト制作</p> <p>【B 鑑賞】 1. 作者の生き方や生活文化と作品 2. 工芸が国際間の理解や協調に果たす役割 3. 文化遺産としての工芸の特色と文化遺産等の保存の意義 ※Aの1.、2.、Bについてはいず</p>					
使用教材(費用)	教材費(4000円程度)					
評価規準・方法など	授業への参加状況、課題へのとり組み、提出物などにより、総合的に評価します。					
備考	<p>「工芸Ⅰ・Ⅱ」で学んだことをさらに発展させ、個性豊かな作品の制作をめざします。週1時間で制作するため、毎時間をたいせつに制作に励むことのできる人におすすめします。 危険な工具や刃物類を使用することがありますので、充分注意してとりこんでください。</p>					

	書道Ⅰ	芸術	普通科目	選択必修	通年	2単位
履修上の注意	「音楽Ⅰ」・「美術Ⅰ」・「工芸Ⅰ」・「書道Ⅰ」のうち、1科目以上を必ず履修すること。					
授業の目標・内容	<p>書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばします。つぎの事項について学びます。</p> <p>【A 表現】 1. 漢字仮名交じりの書 2. 漢字の書 3. 仮名の書</p> <p>【B 鑑賞】 1. 日常生活における書への関心と効用 2. 書の美しさと表現効果 3. 日本および中国などの書の文化</p>					
使用教材(費用)	教科書・教材費(道具類を含めて計3000円程度)					
評価規準・方法など	授業への参加状況、提出物等により、総合的に評価します。					
備考	<p>書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばします。 筆を持つことの好きな人、書写の上達をめざす人は選択されることをおすすめします。 教育書道コンクールに出品を予定しています。 なお、道具は事前に用意する必要はありません。</p>					
	書道Ⅱ	芸術	普通科目	自由選択	通年	2単位
履修上の注意	「書道Ⅰ」を、履修済であること。					
授業の目標・内容	<p>「書道Ⅰ」での学習をふまえ、書道の創造的活動を通して、書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書の文化や伝統についての理解を深め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばします。 つぎの事項を学習します。</p> <p>【A 表現】 1. 漢字仮名交じりの書 2. 漢字の書 3. 仮名の書 4. 篆刻(てんこく)</p> <p>【B 鑑賞】 1. 日常生活における書への関心と効用 2. 書の美しさと表現効果 3. 日本お</p>					
使用教材(費用)	教科書・教材費(計3000円程度)					
評価規準・方法など	授業への参加状況、提出物等により、総合的に評価します。					
備考	<p>「書道Ⅰ」の内容をさらに深め、書の表現について幅広く学びます。 また書の歴史や文化等にもふれていきます。 「書道Ⅰ」に引き続き、書写にじっくりと取り組みたい人、創作表現に興味のある人、教育書道コンクールに挑みたい人は、選択されることをおすすめします。</p>					
	書道Ⅲ	芸術	普通科目	自由選択	通年	2単位
履修上の注意	「書道Ⅰ」および「書道Ⅱ」を、履修済であること。					
授業の目標・内容	<p>「書道Ⅰ」「書道Ⅱ」での学習をふまえ、さらに生涯にわたって書を愛好する心情と書の文化や伝統を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな表現と鑑賞の能力を高めます。 つぎの事項を学習します。</p> <p>【A 表現】 1. 漢字仮名交じりの書 2. 漢字の書 3. 仮名の書</p> <p>【B 鑑賞】 1. 書の美の多様性と作品の特徴 2. 書論による書の理解と鑑賞の深化 3. 日本および中国など</p>					
使用教材(費用)	教科書・教材費(計3000円程度)					
評価規準・方法など	授業への参加状況、提出物等により、総合的に評価します					
備考	<p>書道の学習の総まとめとして、日常の中で取り入れられる書写の能力を確かなものにするとともに、書の文化や伝統を尊重する態度を育てます。卒業制作として、大作(100×180cm位)に挑みます。また、教育書道コンクールに出品を予定しています。</p>					

ソルフェージュ		(専門)音楽	専門科目	自由選択	通年	2単位
履修上の注意	「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」を、履修済であること。					
授業の目標・内容	<p>◇視唱・・・コールユーブンゲン等の楽譜により音程感覚やリズムの読み方を身につけます。</p> <p>◇聴音・・・聞いた音を五線紙に書きとる力を身につけます。(リズム聴音・メロディー聴音)</p> <p>◇楽典・・・音楽活動と密接に結びつく論理的な部分を学びます。</p> <p>◇ピアノ実習・・・バイエル、ブルグミュラー等の入門書により、奏法を学びます。 (幼児教育系の進路希望者で、鍵盤楽器の経験のない場合は履修することが望ましい)</p>					
使用教材(費用)	教科書・副教材・楽譜代など(計3000円程度)					
評価規準・方法など	実技テスト・発表・小テスト・設定した課題へのとり組み・授業への参加状況などにより、総合的に評価します。					
備考	<p>ソルフェージュというのは、簡単にいうと、楽譜を読むことです。 そのために必要な、音楽のしくみについての学習もします。</p> <p>楽器を弾ける人や、これから弾いてみたいと思っている人、音楽関係や幼児教育への進路を考えている人、それぞれの目的や到達度にあわせた課題を設定して学習します。</p>					
素描		(専門)美術	専門科目	自由選択	通年	2単位
履修上の注意	「美術Ⅰ」または「工芸Ⅰ」を履修済であること。					
授業の目標・内容	<p>1 目標 対象のイメージや空間を把握し、造形表現の基礎となる観察力と描写力を高めます。</p> <p>2 内容 (1) デッサン(2) スケッチ(3) 表現材料(4) 鑑賞 「デッサン」では、自然や身近なものを対象として、自己の素直な目で深く観察し、均衡、律動、比例などの美的秩序を確かめ、主体的に対象のイメージや空間、形体などを把握し、美しさを発見し、その形体や色彩、材質感などの表し方を工夫し、表現します。 「スケッチ」では、対象の形体や空間、よさや美しさを端的に把握し、大まかに表すために工夫しながら表現します。 「表</p>					
使用教材(費用)	教材費(計3000円程度)					
評価規準・方法など	授業への参加状況、提出作品などにより、総合的に評価します。					
備考	基本的に、将来デザインや美術を活用する進路を考えている人におすすめです。内容的にかなり高度なので、集中力を持続できること、主体的にとりくめることが必須です。					